

宮川研究室 6 期生による
科学的思考論プレゼンコンテストについて

宮川

(1) プレゼンについて

- 2017 年 4 月 12 日(水)14:45 から 120 番教室で行います。
- 各チームの持ち時間は 15~20 分間で質疑応答 10~15 分間とします。
- 原則としてパワーポイントを映写する形式でプレゼンしてください。
- 一人が発表するのではなく、なるべくチーム全員が一言でもしゃべるよう工夫をしてください。
- 進行は各チームが行います。質疑応答も各チームで促してください。
冒頭の進行例「ただいまより〇〇チームによる△△の発表を行います。発表は 20 分間の予定です。発表後に 10 分間の質疑応答時間を設けますのでよろしくお願いします」

(2) チームの担当文献について

各チームの担当は以下の文献とします。

- 『クリティカルシンキング入門編』 =PA チーム
- 『MBA クリティカルシンキング』 =ER チーム
- 『続・発想法』 =DC チーム（ただし 130p の「六ラウンド累積 KJ 法」の前まで）

(3) 課題について

プレゼンテーションの目的は、文献を読んだチームが文献を読んでいない他のチームにも知識を共有することにあります。各チームは担当文献について、どのような内容が書かれている文献なのか、自分たちがそれをどのように理解したのか、どのような応用が考えられるのか、といったことについて検討してください。

具体的な方法として、全体をまとめて概要を発表するか、もしくはなにかテーマを一つに決めて掘り下げるか、あるいは文献の知識を題材に生かしてなにか自分たちオリジナルのテーマを作成するか、といったことが考えられますが、どのような発表にするかは各チームの自由です。

ただし、DC チームは KJ 法とはなにかについてまとめた上で、KJ 法を用いた事例を自分たちで作成して発表してください（DC チームは 130p まで読めば残りは読まなくても構いません）。

(4) グループワークについて

各チームで行うグループワークは、各メンバーの作業役割の分担をすることではありません。積極的なディスカッションを行う場です。各メンバーは文献を読んでなにをどのよう

に感じて考えたか、お互いの意見や考えをぶつけ合ってください。また、他の人がどのように感じて考えたかに興味を持って相手の話を聴いて議論してください。

なにをテーマにするべきか、どのような発表にするべきか、どのようにして作業を進めていくべきか、だれかリーダーになった人が一人で決めるのではなく、各メンバーがアイデアを提供してください。三人寄れば文殊の知恵。各メンバーが知恵を出し合い、その知恵を結集することを考えましょう。

(5) 優勝チームについて

5期生の投票により優勝チームを決定します（評価ポイントについては別紙の評価シートを参照のこと）。

プレゼン大会の終了後は懇親会を開催しますが、優勝チームには景品がないかわりに懇親会が無料参加になります。また、5期生の裁量によっては個人賞を設けることもあります。